



名古屋市立大学
薬学部
大学院薬学研究科

NAGOYA CITY UNIVERSITY

Faculty of
Pharmaceutical
Sciences





CONTENTS

1P	理念・目的 アドミッションポリシー
2P	薬学部の概要
3P	名古屋市立大学薬学部に入學するには
4P	卒業研究を行う研究室
5-7P	大学院修了者の進路
8P	薬学部の先輩たち
9P	学生生活Q&A
10・11P	キャンパス案内
12P	キャンパス周辺
14P	生命薬科学科
15-17P	入学から卒業まで
18P	大学院進学について
19P	大学院進学後の進路について
20P	薬学科
21-25P	入学から卒業まで
26P	大学院進学について

理念・目的

薬学は、様々な基礎科学を薬に関して総合し、医療への応用を目指す学問です。医療に不可欠な学問である薬学を志す人は、薬を通じて人類の健康と福祉の発展に貢献することが求められています。これを踏まえ、薬学部では生命薬科学科と薬学科を設置し、薬の創製・生産・臨床応用・適正管理・適正使用のための基礎知識と創造力・研究力を有し、世界に羽ばたける多彩な薬のスペシャリストを社会に送り出すことを目指しています。

アドミッションポリシー

薬学部では次のような人を求め、入学を歓迎します。

◆薬学への強い意欲と探究心を持った人

科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。

◆医療・薬学への使命感と倫理観を持った人

薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。

◆科学を中心とする幅広い学力を有する人

薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会科学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文科系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。

◆国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人

医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。

◆生命科学としての薬学への向学心を有する人(生命薬科学科)

将来、基礎薬学研究や医薬品開発等を通じて、科学者として人類の健康と福祉の発展に貢献しようという情熱を有する人を求めます。

◆医療人としての自覚を持てる人(薬学科)

将来、薬剤師として患者さんを思いやり、医療に携わる様々な職種の人々と協調して、患者さんのための医療に貢献しようという意欲のある人を求めます。

◆大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

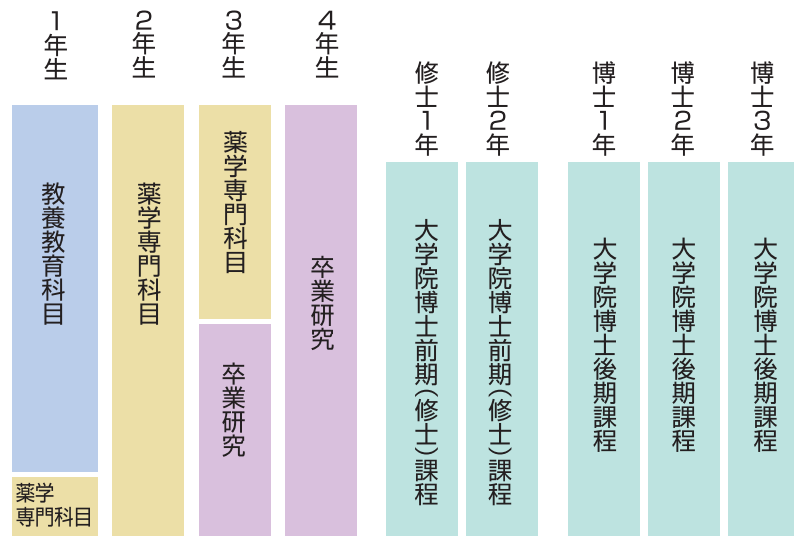
名古屋市立大学薬学部で、あなたの将来を切り拓いてみませんか？

POINT

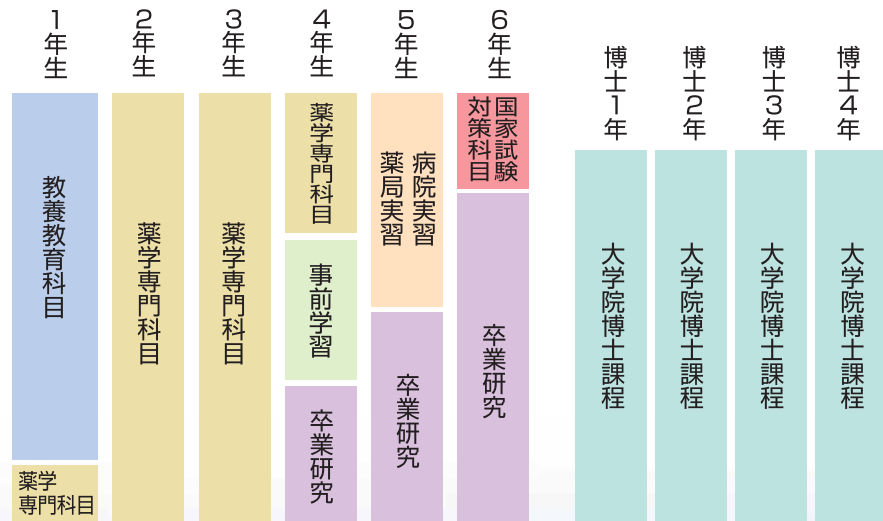
- 名古屋市立大学薬学部には、生命薬科学科と薬学科の二つの学科があります。
- 生命薬科学科では、薬と医療を中心とした科学を幅広く学び、専門的技術を身につけます。
- 薬学科では、薬剤師に必要な知識・技能を身につけ、基礎的な研究能力も涵養します。

二つの学科の 教育課程と大学院

生命薬科学科 (4年制課程)



薬学科 (6年制課程)



名古屋市立大学薬学部に入学するには

入学試験は3種類あります。みなさんの適性にあう試験を選んでください。
もちろん全て受験することもできます。(※は平成23年度入試における変更点)

	出願時期	試験日	合格発表	試験科目	募集定員	備 考
推薦入学試験A	11月上旬	11月下旬の土曜日	12月上旬	小論文及び面接	生命薬科学科4名 薬学科6名	1高校からの推薦は各学科2名(計4名)まで
推薦入学試験B	センター試験の次の日から5日間	個別試験なし	2月上旬	—	生命薬科学科4名 薬学科10名	1高校からの推薦人数に制限はありません。※
公立大学中期日程	1月下旬～2月上旬	3月8日	3月下旬	英語、数学、化学	生命薬科学科32名 薬学科44名	

入学試験に関して、よくあるご質問と回答

Q1 他の国公立大学の推薦入学試験に出願しているのですが、名古屋市立大学薬学部の推薦入学試験Aにも出願できますか？

A1. できません。本学部の推薦入学試験Aに出願する場合、合否発表の前に他の国公立大学の推薦入学試験に出願することはできません。

Q2 名古屋市立大学薬学部の推薦入学試験Aで不合格になった場合、他の国公立大学に出願できますか？

A2. できます。合格発表は12月なので、不合格となった場合は他の国公立大学に出願できます。

Q3 推薦入学試験に合格した場合、辞退して他大学または他学部に進学することはできますか？

A3. できません。合格した場合に入学を確約できる方だけが出願できます。

Q4 推薦入学試験Aにおける、調査書、小論文、面接の点数比率や採点基準は公表されていますか？

A4. 公表しておりません。

Q5 名古屋市立大学薬学部の推薦入学試験Bと、中期日程試験の両方に同時に受験することはできますか？

A5. できます。

Q6 名古屋市立大学薬学部の推薦入学試験Bと、他の国公立大学(前期・後期)に同時に受験することはできますか？

A6. できます。ただし、名古屋市立大学薬学部の推薦入学試験Bと他の国公立大学の推薦入学試験に同時に受験することはできません。

※以上は平成22年度についての場合です。入学試験制度や実施要項は変更される可能性がありますので、実際の出願に際しては良く確認してください。

幅広い学びで豊かな人間形成を育む教養教育科目

1年生は、滝子キャンパスにおいて教養科目を中心に学習します。名古屋市立大学は6学部からなる総合大学であり、教養科目にも幅広いメニューが用意されています。また、英語教育には特に力を入れており、英語科目の6割以上がネイティブスピーカーによる少人数授業です。さらに、英語検定やTOEICなどの試験で一定の成績を得た場合、正式な単位として認定されます。他にも、ボランティア活動による単位認定制度もあります。



梅田 健太郎さん

生命薬科学科
岐阜・岐阜高卒

滝子キャンパスで行われる教養教育では、数学や生物など高校時の教科を延長したような講義から、心理学や法学、経済学など、大学で初めて学ぶ講義まで幅広い分野の学問を学ぶことができます。その中で特に印象的だった講義について紹介します。

一つ目が、外国人講師によって行われる英語の講義です。講義中に使われる言葉は全て英語でした。初めのうちは戸惑うこともありましたが、だんだん慣れていき、楽しく英語を学ぶことができました。特に洋楽を聴く講義が記憶に残っています。

二つ目が、スポーツ科目です。大学でも体育の授業はあります。私はバドミントンを選択しました。この科目では、他学部の学生と一緒になので、薬学部以外の友人をつくることができます。運動能力の向上はもちろん、いろいろな学部の学生と知り合いになれることもこの講義の魅力です。

以上紹介した講義はほんの一例です。他にも魅力的な教養科目はたくさんあります。ぜひ、本学に入学し、薬学の専門科目に加え教養科目も受けてみてほしいと思います。



伊藤 菜奈子さん

薬学科
愛知・旭丘高卒

「大学では自ら学ぶ姿勢が大事」これは教養教育科目を教えてくださいました先生の言葉です。大学生活はやる気次第で変わってきます。何事にも積極的に取り組みればその分大きく視野を広げることが出来ると私は思います。

名古屋市立大学は総合大学なので多くの教養教育科目から授業が選べます。私は経営学や地理学など、今まで習ったことのない科目を選択しました。先生方の方見方はそれまで考えたことのなかったもので、いろいろな発見がありました。これらの授業は切り口を変えることの大切さを教えてくださいました。

また、薬学部にとってなくてはならない授業の1つに自然科学実験があります。見たことのない実験器具を扱ったり、週末をまたいで1つの実験を行ったことはとても新鮮でした。実験では、結果をしっかりと考察しなければなりません。初めは考察することに戸惑いましたが、そのおかげで物事に対する理解が深まったと思います。

教養教育科目で学んだことは上級生になってからの生活に確実に生きています。学んで無駄なことはひとつもありません。どんなことにも興味を持って学ぶ姿勢が大事です。教養教育を通じて幅広く学び視野を広げることが必要だと強く思っています。

卒業研究を行う研究室

● 生命薬科学科では3年後期から、薬学科では4年前期から、以下のいずれかの研究室に所属して卒業研究を行います。

研究室名	関連する疾患・キーワード	主な研究内容
薬化学	創薬化学(有機化学+生物科学)、 抗がん剤、活性酸素	分子設計に基づいた新しい治療薬の化学合成と生物活性評価 活性酸素が関与する生命現象(病気や健康維持)の有機化学的解明
精密有機反応学	革新的医薬創製、新機能分子、 アルツハイマー病	従来ない医薬創製法、及び新発想でナノ科学へ貢献する分子の開発 酵素機能解明、神経疾患や感染症、酸化ストレスの治療薬への挑戦
薬品合成化学	生物活性物質、がん、 不斉合成	特異な構造様式を持つ生物活性物質の全合成研究 新規不斉合成反応の開発
機能分子構造学	有機分子構築、 新規有機反応開発	薬物候補分子群の効率的な合成に関する研究、複数個の原料分子を 一挙に連結する反応(ドミノ反応)の開発と応用
生体超分子 システム解析学	アレルギー、神経疾患、 バイオイメーキング	アレルギー疾患の発症機構の解明と抗アレルギー薬開発への展開 神経ネットワークの形成機構の解明と神経疾患の治療への応用
コロイド・高分子 物性学	ナノ粒子、ソフトマター、 生体適合材料、診断薬	物理化学的手法によるソフトな系の実験、理論、計算科学的な研究 微粒子や高分子を用いた材料の開発研究と診断薬等への応用
生命分子構造学	アルツハイマー病、 パーキンソン病、抗体医薬	脳の形成と病態にかかわる生命分子の構造と機能の研究 細胞の中のタンパク質の運命を決定する仕組みの解明
分子生物薬学	肥満と脂肪細胞、細胞のがん化、 生活習慣病	遺伝子レベルにおける肥満の原因解明および新たな抗肥満薬の開発 エピジェネティクス変化の解析による細胞がん化機構の解明
薬物送達学	ドラッグデリバリーシステム(DDS)、 脳腫瘍、結核	脳腫瘍や各種がんへの標的化DDSの創製、 結核治療用および骨の再生治療のためのナノDDSの創製
生薬学	植物バイオテクノロジー、 伝承薬物、科学的評価	バイオテクノロジーによる植物医薬品の生産 漢方薬をはじめとする伝承薬物の科学的評価
生体防御機能学	免疫、炎症、結核、 タバコの害	病原菌感染に対する防御機構、病気の原因となる炎症の発現機構、 たばこと調節リウマチに関する研究
遺伝情報学	がん、遺伝性疾患、 神経変性疾患	遺伝情報であるRNAの研究に基づいた細胞周期、体内時計、細胞老 化、細胞死、学習・記憶、およびその関連疾患の解明
細胞分子 薬効解析学	イオンチャネル、高血圧症、 消化器運動異常	筋肉や神経の機能を制御するイオンチャネルと各種疾患の関係解明及 び治療に有効なイオンチャネル作用薬の創製
病態生化学	先天性脳疾患、記憶障害、 読字障害	脳の発達・機能・病態に関わる分子・遺伝子群の機能解明 遺伝子改変動物を利用した、精神・神経疾患治療法の開発研究
薬物動態制御学	代謝、生活習慣病、 ドラッグデリバリー	代謝関連物質の体内動態機構と生理・病態との関わり 代謝関連物質の生活習慣病治療薬としての活用、デリバリー、用法
病態解析学	動脈硬化、血栓性疾患、 生活習慣病	血管病のメカニズムの解明と薬物治療の標的の探索 生理活性脂質を用いた血管病の新しい治療法の開発
医薬品代謝解析学	糖尿病、がん、炎症、 ストレス	環境変化に対する細胞の反応とその異常に起因する疾患の研究 薬の効き方を決める、体内での薬の運命に関する研究
中枢神経機能 薬理学	神経障害性の痛み、 鎮痛薬、脊髄損傷	持続する神経障害性の痛みを和らげる鎮痛薬の研究 脊髄損傷による運動障害を改善する治療薬の研究
病院薬剤学	排尿・性機能障害、 有機酸代謝異常症	臨床に直結した研究テーマの実践、名古屋市立大学病院の医局・薬剤 部との共同研究、薬剤師の視点で取り組む臨床研究
臨床薬学教育研究 センター	ヒトiPS細胞、代謝遺伝疾患、 糖尿病	ヒトiPS細胞の肝細胞への分化と医薬品開発研究への応用 代謝遺伝疾患の発症と糖尿病による血管障害の機序の解明

大学院修了者（旧制度薬学部卒業生）の進路

*薬学教育が新制度に変わってからまだ卒業生が出ていないため、参考のため旧制度大学院修了者の就職状況を紹介します。

大学院修了者（旧制度薬学部卒業生）の進路 （平成20年～平成22年3月修了生：計205名）

製薬関連企業および病院・薬局を中心に、就職希望者の**ほぼ100%が就職**しています。

平成20年～22年度博士前期課程（修士課程）修了者の就職状況
かつこ内は人数で、記載のないところは1人

【製薬関連企業】

富山化学工業(6)、小野薬品工業(5)、科研製薬(4)、大正製薬(4)、武田薬品工業(4)、アステラス製薬(3)、大鵬薬品工業(3)、マルホ(3)、持田製薬(3)、ロート製薬(3)、アステラス東海(2)、エーザイ(2)、佐藤製薬(2)、東和薬品(2)、アストラゼネカ、大塚製薬、塩野義製薬、第一三共、大日本住友製薬、田辺三菱製薬、日医工、日本ケミカルリサーチ、日本たばこ産業、明治製菓、ヤンセンファーマ、等

【公務員】

名古屋市(8)、医薬品医療機器総合機構(4)、愛知県(3)、厚生労働省(2)、三重県(2)、特許庁、航空自衛隊、神奈川県、大津市、浜松市、等

【病院】

名古屋市立大学病院(3)、安城更生病院(2)、刈谷豊田総合病院(2)、静岡県立病院機構(2)、岐阜大学病院、佐賀大学病院、長崎大学病院、福井大学病院、三重大学病院、横浜市立大学病院、一宮市民病院、一宮西病院、大垣市民病院、海南病院、岐阜社会保険病院、大同病院、知多厚生病院、中京病院、中国中央病院、津生協病院、トヨタ記念病院、豊田厚生病院、豊橋市民病院、名古屋第二赤十字病院、等

【薬局・医薬品販売】

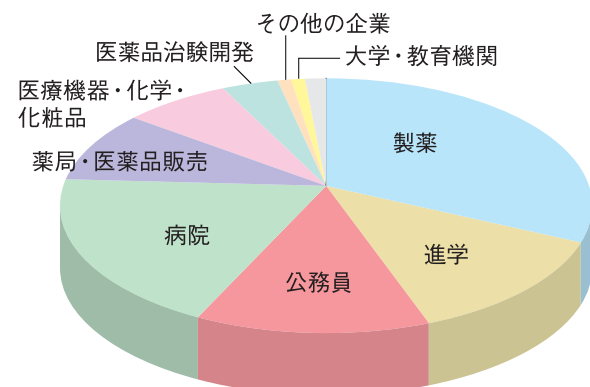
イオンリテール(5)、スギヤマ薬品(4)、アイセイ薬局、協和ケミカル、スズケン、たんばば薬局、東方薬品、日本調剤、メディカルー光、等

【化学工業・化粧品・医療機器関連企業】

メニコン(3)、メナード化粧品(2)、三洋化成、ディーエイチシー、テルモ、東洋紡、山田養蜂場、ライオン、和光純薬、等

【医薬品治験・開発関連企業】

イーピーエス(3)、新日本科学(3)、クインタイルズ、パレクセル、等



大学院博士後期課程修了（博士号取得）者の進路 （平成20年～平成22年3月修了生：計22名）

大学・国公立の研究所で研究を続ける人が多く、製薬企業に就職する人もいます。

平成20年～22年度博士後期課程修了者の就職状況
かつこ内は人数で、記載のないところは1人

【製薬関連企業】

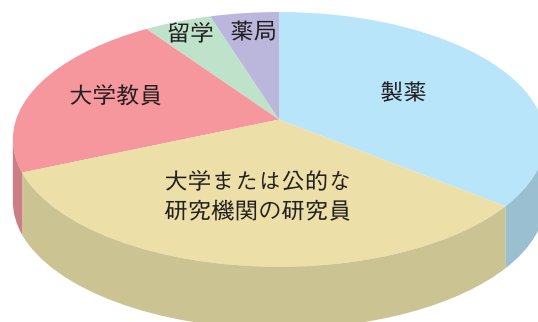
小野薬品工業(2)、アステラス製薬、アラクス、エーザイ、積水メディカル、帝人、持田製薬

【大学または公的研究所の研究員】

日本学術振興会特別研究員(3)、相模中央化学研究所、国立生理学研究所、国立分子科学研究所、埼玉医科大学ゲノム医学研究センター

【大学教員】

名古屋市立大学薬学部(2)、愛知学院大学歯学部、金城学院大学薬学部、摂南大学薬学部



OBからのメッセージ



木村 和哲 さん

名古屋市立大学 大学院医学研究科
臨床薬理学 教授
名古屋市立大学 大学院薬学研究科
病院薬理学 教授（兼務）
名古屋市立大学病院 薬剤部長
昭和55年3月 学部卒業
平成16年 博士学位取得

「患者さんの近くで仕事がしたい」という思いから卒業後、病院薬剤師の道を選択しました。この30年の間に病院で勤務する薬剤師の業務は大きく変わり、個々の薬剤師の能力や専門性が問われる時代となりました。がん化学療法や緩和ケア、救急医療など医療現場には薬剤師が取り組まなければならないテーマがいたる所に在ります。幸い、名市大は東海地区で唯一、付属病院、医学部、薬学部、看護学部を有し臨床薬剤師の育成にはこの上ない環境下にあります。平成21年度には医学研究科内に臨床薬理学分野が新しく開設されました。この新しい教室を担当する私の責任は重大ですが、薬学部と医療系学部との橋渡しができるように努力したいと思います。薬学6年制になりこれまでにない視野が開かれています。是非、この名市大薬学部で新しい道を拓いてください。

OBからのメッセージ



小川 幹男 さん

小野薬品工業株式会社薬物動態
研究所 理事・所長
昭和59年3月 博士前期課程修了

博士前期課程を修了後、現製薬会社へ入社しました。これまでに、シーズ（薬の種）探索、創業研究テーマの立ち上げ、医薬品候補化合物の選定、申請資料作成、品質（原薬と製剤）・薬効薬理・安全性・薬物動態など、医薬品申請に必要な非臨床5分野を束ねる業務を経験して、現職に至っています。企業活動の醍醐味は、個の力のみでは成し得ない大きな目標に対して、多岐に渡る専門分野の知識・経験・技術などを結集させ、組織としての総合力で成果に結びつけることです。それには、科学的な能力の他にも、企画力・交渉力・組織をまとめるリーダーシップなどが求められます。異分野との融合によって新たな研究分野を開拓する動きもあり、皆さんが「薬創り」に興味を持って進まれることを期待しています。

OGからのメッセージ



亀井 春枝 さん

愛知県薬剤師会会長 カメイ薬局開局
昭和41年3月 学部卒業

大学の入学式に学長先生が「大学とは、人格形成と真理探究の場である」と言われたことを今も覚えています。教養部時代は真理探究ってなに？とよく議論しました。学部では薬化学教室に入り、多くの優秀な先輩同期の方々のなかで先生方の手を煩わせた落ちこぼれで目立っていました。出来の悪い学生でしたが、先生方の研究に対する真摯な態度をいつも肌で感じ、学問の道の遠大さを知ることができたことが、大学生活での一番の収穫だったように思います。卒業後、いろいろな職を体験しましたが、大学時代の勉強が思わぬ所で役に立つ経験をしました。今にして“もっと勉強しておけば良かった!”と思います。

OBからのメッセージ



水谷 義勝 さん

中部労災病院薬剤部薬剤部長
昭和50年 学部卒業
平成7年3月 博士学位取得

従来、病院薬剤師の仕事は医師の発行した処方せんに従い、薬を調製する調剤業務が中心でした。しかし、近年では医薬分業の普及により、外来患者の処方調剤は街の薬局にまかせ、病院薬剤師は入院患者の薬物療法に直接、貢献できるようになりました。患者の病態を把握して医師の処方内容をチェックしたり、薬の効果や副作用の有無を監視しながら、処方そのものを提案する場面も多くなっています。薬剤師免許は国家資格で、現在は更新制度がなく、一生のものとなることは魅力ですが、これにあぐらをかいて自己研鑽を怠ると、専門職能集団の病院では落ちこぼれてしまいます。資格取得は薬剤師のスタート地点でしかなく、その後も継続した勉強が必要です。

OBからのメッセージ



藤森 智宏 さん

大日本住友製薬株式会社 開発本部
臨床開発第1部
平成18年3月 博士前期課程修了

私は製薬会社の開発本部で仕事をしています。「薬の開発」というイメージが沸かないかもしれませんが、新薬の候補として選ばれた化合物を実際に患者さんに飲んでいただき、有効性や安全性を確認するための臨床試験（治験）をデザインし、日本全国の医療機関を訪問し、治験に参加頂く患者さんの安全や権利が守られていることをモニタリングする仕事です。現在、新薬の開発は世界規模で進められるため、日本のみではなく海外で仕事をすることもあります。名古屋市立大学で学んだ薬学の専門知識は、もちろん今の仕事にはなくてはならないものですが、大学時代の多くの人々との出会いが、今でも私にとって大切な財産です。皆さんには、大学生活の中で多くの人とふれあい、好奇心や若き情熱を忘れずに様々な物事にチャレンジすることで、既成概念に捕らわれない広い視野をもった人間を目指していただきたいと思います。

OGからのメッセージ



神谷 由紀子 さん

国立自然科学研究機構 岡崎統合
バイオサイエンスセンター
特任助教
平成20年3月 博士後期課程修了

私は名古屋市立大学にて博士号を取得した後、岡崎市にあります自然科学研究機構に所属し研究活動に従事しています。現在、生体内で働くタンパク質などの分子がどのような仕組みでその役割を果たしているのか、原子レベルで理解することを目指して研究を行っています。こういった基礎的な研究では、得られた成果をすぐに社会に還元することは難しいですが、新しく知識を創造し学問の発展を牽引できる点が魅力だと思っています。また、海外の研究所との共同研究や国際学会での発表を通じて、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどの世界各国の方々と交流する機会を多くもつことができるのが、この仕事の大きな特色です。

薬学部は幅広い視野で基礎知識を学べます。分野を越えた柔軟な発想力を身につけ、世界にチャレンジできる人を目指してください。

OGからのメッセージ



鴨東 美絵 さん

イーザイ株式会社 原薬研究部
原薬分析研究室
平成21年3月 博士後期課程修了

私は新薬の有効成分である「原薬」を高い品質で、安全に、安定供給するための工業化研究に携わっています。また、海外の薬事規制当局への新薬承認申請業務も行っています。私は、薬をつくることで、目の前の患者さんだけでなく世界中の患者さんを救いたいと思い、薬学部を志しました。学部、大学院と合計9年間名古屋市大に在籍し、学部では、有機化学、薬理学、物理化学、分子生物学など非常に幅広い学問を学びました。そして大学院では、自分が興味を持った分野の研究に打ち込み、成果を論文投稿や学会発表として世界に発信することができました。企業の研究では、幅広い視点から仕事を進める必要があり、大学での貴重な経験は非常に役立っています。皆さんも是非、薬学部で学生生活、そして研究生活を楽しんで下さい。

OBからのメッセージ



日比 輝正 さん

北海道大学 電子科学研究所 助教
平成21年3月 博士後期課程修了

私は現在、最新の顕微鏡技術を使って、体内で起こる様々な現象を分子レベルで解明する研究をしています。このような研究は、物理・化学・生物の広範囲の知識や技術を駆使して進めていく必要があります。私の場合、大学生・大学院生時代に名市大の薬学で学んだ様々な事が、その基礎となっています。

薬学部では、非常に幅広い講義や実習から多くの事を学べます。そして名市大の薬学部は、各研究室の研究も非常に質が高く、しっかりした研究の基礎を築けると思います。これから大学に入って様々な事を学ぶと、これまでは違う新しい事に興味を持つと思います。実際私は、大学3年生までは生物学の研究をするとは全く思っていませんでしたが、研究室配属で生物学の研究をやってみて、非常に面白くやりがいがあった事が今の研究に繋がっています。将来研究者になりたい人、色々な事をやってみたい人は、名市大薬学部への進学を考えてみてはいかがでしょうか。

OGからのメッセージ

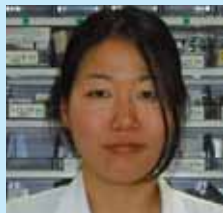


河野 志織 さん

ライオン株式会社 リビングケア研究所
平成20年3月 博士前期課程修了

薬剤師の資格に魅力を感じて薬学部に入りましたが、就職活動で会社説明会に行くうちに商品開発にも興味を持ち、今の仕事に携わるようになりました。リビングケア研究所では食洗機用洗剤の開発を担当しており、日々界面活性剤や増粘剤などの化学と向き合っています。私は生物系研究室の出身なので化学は専門ではありませんでしたが、薬学部で有機化学から生理学と幅広く学んできたため、その知識を土台にし、さらに専門的な知識が必要となる場合には自分で勉強しながら仕事に取り組んでいます。また、それだけでなく、商品を世に出すためには人体や環境への影響も考慮しなくてはならないため、薬学の知識も非常に役立っています。薬学部というと薬関係のことしか勉強せず、卒業後は薬関係の職種に就く、と思われがちですが、決してそのようなことはありません。大学で多くを学び、自分の興味ある分野を見つけて将来に向けて追究していったらいいと思います。

OGからのメッセージ



阿部 裕子 さん

一宮市立市民病院 薬剤局
平成21年3月 博士前期課程修了

私は病院薬剤師として勤務して2年目になります。仕事内容としては外来・入院調剤、入院注射調剤、抗がん剤の混注などの業務が1週間のローテーションで決められており、週に1回、午後から担当病棟の服薬指導を行っています。まだまだ経験も知識も少なく、ベテラン薬剤師に頼ることも多々ありますが、担当患者を持つようになってからは責任を強く感じるようになり、患者および他の医療関係者により有用な情報を提供出来るように心がけています。大学で学んだことと実務は直接的にはつながらないこともありますが、1つの事象を多面的に考えることが必要となります。その上で、大学時代の様々な分野の授業も実験における考察や討論なども、こういった多面的に考える力につながっていくのだと実感しています。薬剤師というのは地味な仕事の面も多いですが、仕事の幅もどんどん広がっており、患者や医療関係者を含めて包括的に医療をサポート出来る職業だと思っています。

OBからのメッセージ



山本 俊輔 さん

武田薬品工業株式会社 医薬研究本部
平成21年3月 博士前期課程修了

薬学部志望の多くの人がそうであるように、私も「医療に貢献したい」という漠然とした思いを抱き、名古屋市立大学に入学しました。入学直後は具体的な将来像を持てずにいました。しかし大学院時代の研究において化合物を輸送する新規タンパク質を発見したことがきっかけで研究が楽しくなり、製薬企業の研究職として医療に貢献しようと決意しました。現在は、医薬品候補化合物の吸収や体内動態を評価し、優れた医薬品を見いだそうと、日々研究を行っています。医薬品の創出は極めて困難な作業であり、幅広い知識や最新の技術が要求されますが、名市大での経験全てが自信となり、今も研究生活の中に活きているように感じます。名市大薬学部は全国各地から集まる優れた仲間と切磋琢磨できる環境にあります。また医療薬学から基礎研究に至るまで幅広く学ぶことができます。高校生の皆様が通り甲斐を持てる進路がきっと見つかるはずです。

OGからのメッセージ



池谷 実穂 さん

浜松市 浜北区まちづくり推進課
平成21年3月 博士前期課程修了

公務員という事務職のイメージが強いと思いますが、薬剤師という資格職での採用がある事をご存知ですか？私は修士課程を修了後、薬剤師として、病気に苦しむ人に限らずより多くの人の為になる仕事をしたいと思い、地方公務員の道を選びました。現在は環境衛生業務を担当しており、工場等の立ち入り調査や、河川や地下水の水質調査を行っています。他には、食品衛生業務、薬局・病院の指導、研究所での分析業務なども薬剤師の仕事です。薬剤師といっても、薬の知識はあまり必要とされません。しかし、「化学物質についての専門知識があり、加えて生体への影響を考えられる」ことが薬学出身者ならではの強みであると感じています。この強みを意識しながら、日々業務に取り組んでいます。病院や薬局以外にも、薬剤師が必要とされる場がある事を知って、選択肢の一つにしてみればと思います。

OBからのメッセージ



城村 由和 さん

アメリカ合衆国
国立がん研究所 研究員
平成20年3月 博士後期課程修了

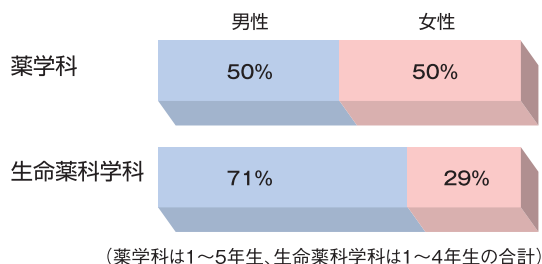
薬学部での研究活動を通して研究のおもしろさや社会的重要性に魅了された私は、さらに研鑽を積むため、がん研究の世界的拠点の一つである米国国立がん研究所にて、細胞分裂異常のメカニズムについて遺伝子レベルでの解明を目指して研究を行っています。この研究所には、強い熱意を持った多くの研究者や医師が世界各国から集まり、がんの治療や新薬開発を目指して研究に従事しています。このような環境の中で、物理系、化学系、生物系、そして医療系の研究室を有する薬学部で培った幅広い知識や実験手法が非常に役に立っています。がんを含めた多くの疾病の原因解明や治療法の開発が待ち望まれている中、少しでも多くの熱意をもった方が研究の世界に入ってくられ、世界中の多くの研究者と切磋琢磨して、これらの難問に立ち向かっていったらいいと思います。(写真は在米24年の韓国人ボス(右)と私)

薬学部 先輩たち

<在学生データ>

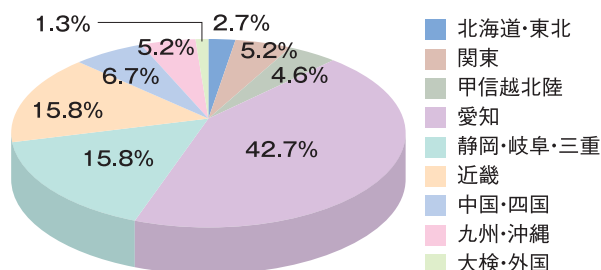
在学生の男女比

薬学科は、男女が同数在籍しています。生命薬科学科は、男子学生が7割を占めています。これまでの毎年の入学者の傾向も同様です。



在学生の出身地

東海地方(愛知、岐阜、三重、静岡)の出身者は約6割ですが、北海道から沖縄まで全国各地より入学しており、多様性に富んだ、意欲的な学生が学んでいます。



<クラブ・サークル活動>

名古屋市立大学には、運動系クラブ26、文化系クラブ17、同好会が3つあり、それぞれ活発な活動を行っています。薬学部生の多くも、これらのクラブ、同好会に参加し、めざましい活躍をしています。

馬術部



伊藤 美紀 さん

薬学科
愛知・愛知淑徳高卒

私の所属する馬術部は60年近い歴史を持つ伝統ある部で、薬学部研究棟の隣にある馬場で活動しています。大学の敷地内に厩舎があるのは珍しく、この恵まれた環境で日々練習に励んでいます。乗馬や障害の練習だけでなく、馬の手入れや世話も馬術部の活動の一部です。自分達で世話をすることにより、馬に対する責任や愛着がより強くなり、馬との信頼関係も築かれます。

毎年秋には「名古屋まつり」に参加します。自分たちの馬と共に、悪代官や天狗に扮して街を歩きます。馬術部での活動を通して、このような貴重な経験を数え切れないほど体験しました。

私は何か新しいことを始めたいと思い馬術部に入部しました。学業との両立は少し大変ですが、充実した日々を送っています。これから大学生になる皆さんにも、大学でしかできないことを見つけて挑戦してほしいと思います。

準硬式野球部

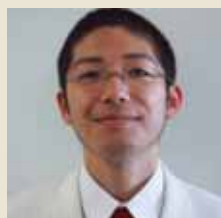


久保田 雅仁 さん

生命薬科学科
福岡・小倉高卒

名古屋市立大学準硬式野球部は、薬学部キャンパスの研究棟と共に新しくなったグラウンドを拠点に、週3回活動しています。経験の有無に関わらず、皆で楽しく野球しています。東海リーグに所属しており、春と秋に行われるリーグ戦の優勝を目指して日々頑張っています。学生の本分はもちろん勉強ですが、体を動かし、楽しく野球をすることで、良い気分転換になっています。部には、薬学部の先輩も多数在籍しており、勉強面や生活面における相談に乗ってもらうこともできますし、医学部をはじめとする薬学部以外の学生も多数在籍しているので、多くの人との繋がりを持つことができます。また、学生が中心となって部の運営をしており、組織運営の難しさや楽しさ、遣り甲斐を学ぶこともできます。みなさんも名市大薬学部に入部して、楽しく野球をしながら大学生活をより充実したものにしてほしい!

合唱部



會澤 和之 さん

生命薬科学科
神奈川・茅ヶ崎北陵高卒

合唱部は年に1度開かれる定期演奏会を目標に練習しています。私は高校まで音楽系の部活に所属していませんでしたが、

部活の雰囲気が非常に良くて入部しました。最初は楽譜も読めず苦労しましたが、周りの先輩方が丁寧に教えてくれたので徐々に他の人に合わせて歌うことができるようになりました。合唱は、皆で揃って歌うことではじめてきれいな演奏を作り出せるところが大きな魅力だと思います。合唱部では、プロの音楽家の方によるレッスン、年4回の強化合宿、他大学の合唱部との交流会など年間行事が詰まっています。高校まででは考えられないくらい色々な人と関係を持つことができるのも楽しさの一つだと思います。

大学生活においては、興味を持ったこと、やってみたいことは何でもやってみるのが良いと思います。入学した際には入学式で学生歌を一生懸命歌いますので是非寝ないで聞いてください。

日本拳法部



西本 綾 さん

薬学科
奈良・郡山高卒

大学に入るまで日本拳法というものの自体知りませんでしたが、部の雰囲気が良く楽しそうだったため日本拳法部に入部しました。

先輩後輩の仲もすごくいいですし、部活動を通して、他学部にも友人もできました。これまで、幹部として大人数をまとめ引っ張っていく難しさ、試合で結果を出せない悔しさで気持ちが折れそうになった時期もありました。しかし、負けて逃げるのは嫌で必死に努力し、仲間の助けも得てなんとか乗り越えられました。結果的にこの時期が学校の成績も1番良く、大会において準優勝することができました。努力が報われ、結果を出せた喜びは大きく、自分に自信ができました。日本拳法部に入ったことで、精神的に成長でき、そしてこの先もずっと付き合っていきたいと思う大事な仲間に出会えました。今高校生のみなさんも、大学に入ったらなんでもよいので打ち込めるものを見つけ、楽しい充実した大学生活を過ごしてください。

学生生活 Q&A

学生生活に関して、よくあるご質問と回答

Q1 名古屋市立大学薬学部での学生生活を見学したいのですが…?

A1. 薬学部では、定期的に行うオープンキャンパスに加えて、「いつでもミニオープンキャンパス」を行っています。事前に申し込みが必要となりますが、講義や実習の見学も可能です。詳細については薬学部ホームページをご覧ください。

Q2 食堂などは充実していますか?

A2. 田辺通キャンパス、滝子キャンパスともに生協があり、食事に限らず、生活用品の購入ができます。食堂では、栄養バランスを考えたメニューが豊富に用意されており、毎日楽しく食事ができる環境です。

Q3 入学後、勉強などの悩みについて相談できる機会がありますか?

A3. 薬学部では、学生約8人につき1人のチューター教員がつき、学業等の悩みなど、いつでも学生の相談を受け付けています。悩み事があれば遠慮なく、相談に来てください。また、滝子キャンパスでは、専門のカウンセラーを配置した学生相談室を設けています。

Q4 奨学金などの経済的な援助を受けることはできますか?

A4. 名古屋市立大学では、日本学生支援機構、民間、地方公共団体などの各種奨学金給付団体への推薦を行っています。現在、日本学生支援機構奨学金については、全学生のうち20%が貸与を受けています。また、経済的理由により、授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀と認められた場合には、選考のうえ、授業料を減免する制度を設けています。さらに、名古屋市立大学には、学生の学習意欲を高めるために、学年ごとに各学科の成績上位4%の学生に10万円を授与する大学独自の奨学金制度もあります。

Q5 アルバイトはできますか?

A5. アルバイトをしている学生は少なくありませんが、講義、実習などで時間的余裕は少ないのが現状と思われます。アルバイトをする場合は、あくまでも学業優先を念頭において、しっかり両立することを心がけましょう。

Q6 入学後に転学科はできますか?

A6. 一般選抜により入学した場合に限り、1年次および2年次の2月中に転学科許可申請書を提出し、様々な条件がすべて満たされれば可能です。



薬学祭

薬学生が企画、運営する一大イベント

薬学部の学生が企画から当日の運営まで行う薬学祭は、毎年大変な盛り上がりを見せます。

薬学祭では、「製薬体験」など市民の方にも薬学に触れていただくことができる企画が目白押しです。みなさんも薬学部に入學して、薬学祭で大いに活躍してみませんか?



キャンパス内の模擬店



盛り上がるステージ



子供たちと触れ合う製薬体験

実行委員長（平成21年度）



平石 龍大 さん

薬学科
東京・都立日比谷高卒

薬学祭とは、年に一度10月末か、11月初旬に私たち薬学部生が実行委員として運営する学園祭のことです。模擬店やステージイベントなど普通の学園祭的な部分もあり、非常に活気に溢れています。そういった中に製薬体験や薬草園見学など薬学部特有のイベントがたくさん盛り込まれており、毎年多くの学生や地域の方々にお越しいただいております。この薬学祭の運営は主に3年生によって行われていますが、ここ最近では1、2年生も積極的に企画に参画し、学部全体で薬学祭を盛り上げようという意識が大きくなってきています。みなさんも是非、名古屋市立大学薬学部に入學して薬学祭の活動をしてみませんか?たくさんの仲間と共に楽しく自分を成長させることができると素晴らしい機会だと思います。みなさんが創り上げる薬学祭を楽しみにしています。

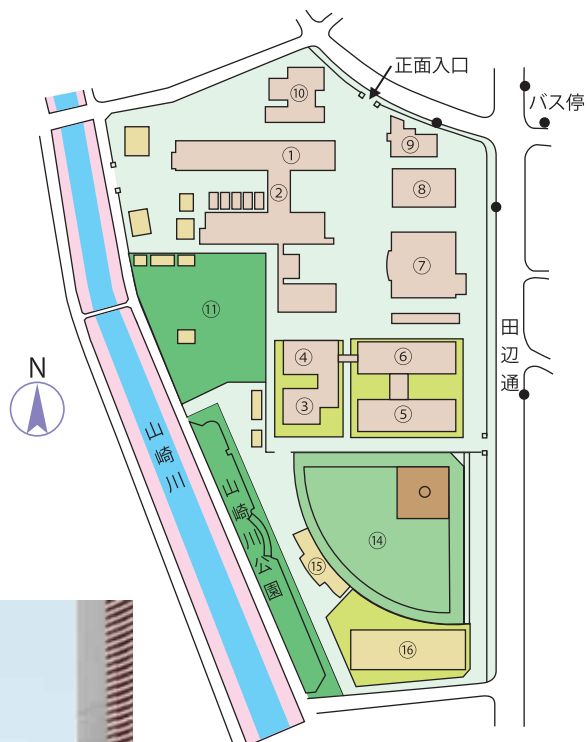
キャンパス案内

キャンパス(田辺通キャンパス)

薬学部のある田辺通キャンパスには、講義室のある本館(①②)、平成20年に完成した新実習棟(③④)、平成21年に完成した新研究棟(⑤⑥)をはじめ、先端薬学研究施設・共同利用研究施設(⑦)、図書館(⑧)、薬用植物園(⑪)、厚生会館(生協、⑩)、薬友会館(⑨)といった施設があります。このうち、講義室、図書館、厚生会館(生協)は、建替えられる予定です(平成24年度完成予定)。新研究棟のすぐとなりに市大の野球場(⑭)と厩舎(⑮)・馬場(⑯)があります。

新実習棟には、基礎薬学の実習を行う実習室が2つ(物理・生物系実習室、化学系実習室)あり、最新の実習機器・設備を備えています。

また、実践的な薬剤師教育を行うための模擬薬局や模擬病室、少人数でのグループ実習やセミナーを行うOSCE室、コンピュータを利用した試験や実習を行うCBT室を設置し、新しい薬学教育制度に対応した全国でも屈指の最先端実習施設となっています。



図書館



先端薬学研究施設
共同利用研究施設



新実習棟



野球場



薬用植物園



新研究棟



厩舎



馬場



化学系実習室



CBT室



物理・生物系実習室



OSCE室



模擬薬局



模擬病室

改築予定

現在の薬学部の校舎は昭和38年から昭和47年に建設されたもので、施設が老朽化し、スペースも狭隘であり、研究機器の高度化等への対応が必要です。また、平成18年度から薬剤師養成課程が6年制化され、施設面の対応も求められるため、校舎の改築を進めています。これまでに、平成20年8月に新実習棟が、平成21年8月に新研究棟が完成し、現在第二期工事（講義棟、図書・厚生棟、外構）の実施設計が行われています。平成23年度に着工し、平成24年10月には講義棟、実習棟、図書・厚生棟が、25年度には外構を含めすべて完成する予定です。



薬学部キャンパスとその周辺の環境



児玉 卓也 さん

薬学科
秋田・秋田高卒

僕がこの名古屋に住み始めたのは数年前。実家が秋田で遠く、親戚など頼れる人もいない地域で一人暮らしをする事になったので、名古屋で大学生活をしようと決まったときは家族にも心配されたし、自分でも心配事が多かったことを覚えています。多くの不安と共に名古屋にやってきた田舎者でしたが、その不安は大学が始まってすぐに払拭されました。気の合う仲間たちがすぐに見つかり、彼らとの楽しい学校生活が始まったからです。特に名市大薬学部は全国から学生が集まるので、それこそ北から南までいろんな出身地の友達ができ、それだけでも楽しいです。また生活面では幸いにも大学から自転車で行ける範囲内で生活用品から遊びまでだいたい揃うという便利な位置にあります。あまり騒々しい街ではないけれども全く静かというわけでもない、というところも暮らしやすい一面だと思います。さらにこの周辺でも特に僕のお気に入りの場所は瑞穂陸上競技場と鶴舞公園です。瑞穂陸上競技場は名古屋グランパスのホームスタジアムなので気軽にJリーグの試合が観戦できますし、鶴舞公園にはサッカーグラウンドがあり、僕自身この場所でよく社会人リーグのサッカーの試合をしています。またこの二箇所は名古屋でも有数の桜の名所でもあります。僕はこの環境で生活できることを嬉しく思っています。

キャンパス周辺

名古屋市立大学薬学部キャンパスのある名古屋市瑞穂区は、名古屋市の中央やや南に位置し、薬学部キャンパスを始め教育施設や博物館などが集まる文教地区となっています。また、地下鉄名城線、桜通線、市バスなどの交通網が整備され、明るく住みよい文化的な生活ができる区として、進展が期待されています。

薬学部キャンパスのすぐ隣には桜の名所として名高い山崎川が流れ、川沿いと山崎川公園は区民の憩いの場となっています。

また、近くには、名古屋市総合運動公園があり、名古屋グランパスの本拠地でもある瑞穂陸上競技場をはじめ各種のスポーツ施設が整備されています。

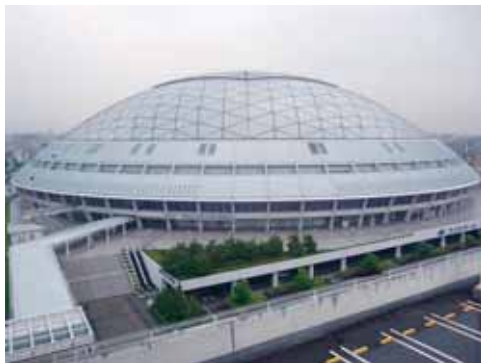
その他、周辺の桜山地区には名古屋市立大学医学部および附属病院が、八事(やごと)地区には名城大学や中京大学があり、学生向けの店舗や飲食店が多くあります。さらに少し足を延ばせば、熱田神宮、東山動植物園、名古屋城、ナゴヤドームといった名所を楽しむことができます。



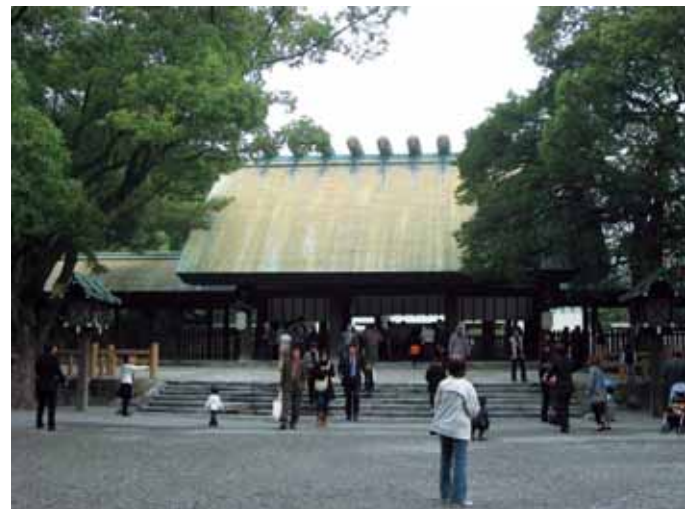
名古屋市博物館



瑞穂陸上競技場



ナゴヤドーム



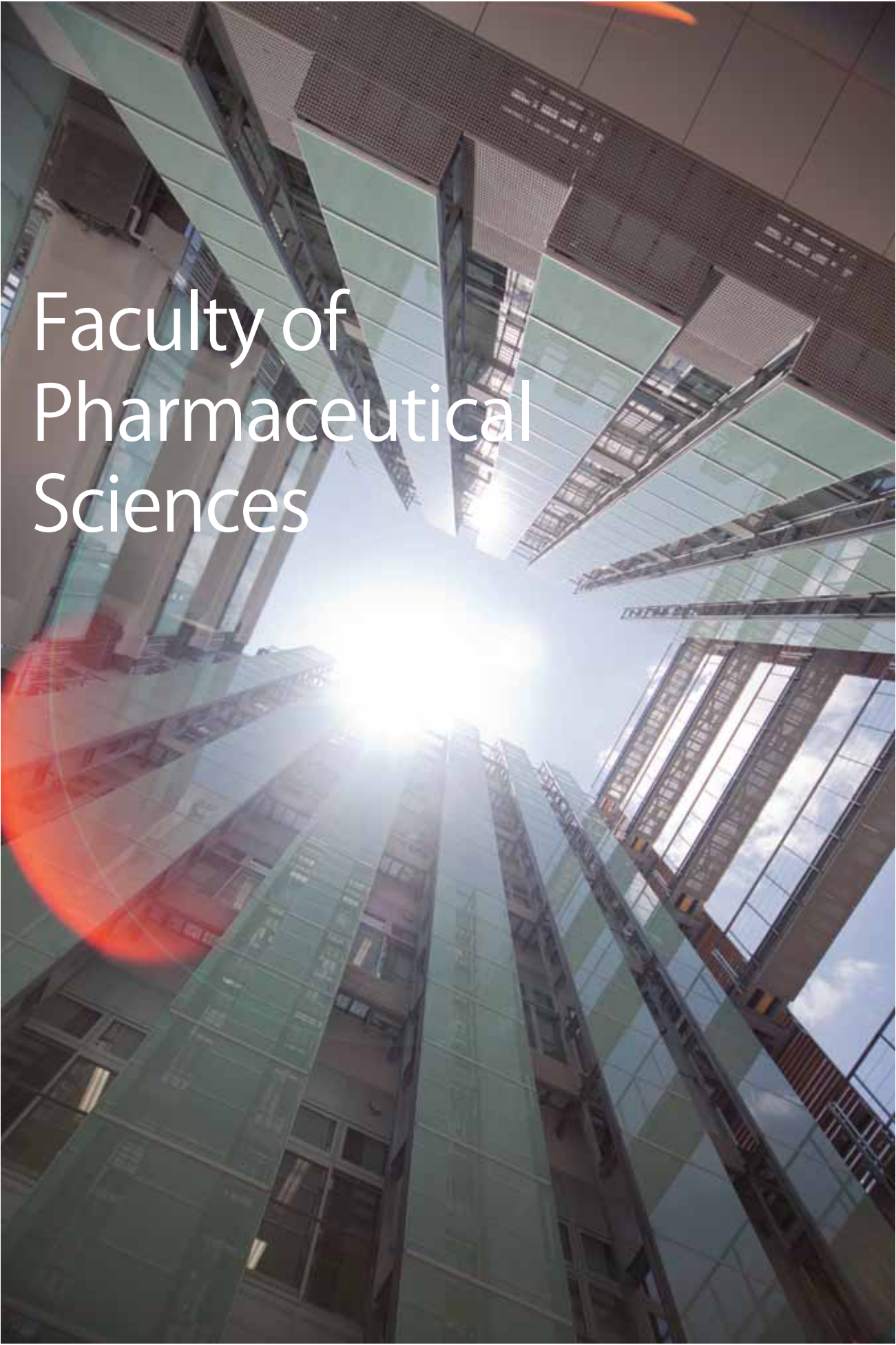
熱田神宮



山崎川



名古屋城



Faculty of Pharmaceutical Sciences

生命薬科学科

豊富な研究機会。

科学的思考(サイエンティフィック・マインド)の訓練と実践。

薬の科学のスペシャリストに！



生命薬科学科の概要

薬学は医療に不可欠な学問分野の一つです。薬学を学んだ人は、薬を通じて人類の福祉と発展に貢献することができ、様々な場面で活躍できる薬のスペシャリストになることが期待されています。

生命薬科学科では、生命・薬などに関わる「モノ」の本質を科学的な目で捉える力と国際社会に目を向けた幅広い視野を養います。これにより、医薬品開発や生命科学の探求等を通じて医療へ貢献する、薬の科学のスペシャリストを目指します。

また、大学院に進学し、最先端の生命科学・創薬科学の研究に積極的に関わることが強く期待されています。

生命薬科学科の特徴

1.研究経験重視の教育カリキュラム

2年生前期に研究室体験ができる。
3年生後期から本格的な研究室での卒業研究に取り組む。
薬の科学の専門家として必要な研究発表能力・説明能力を伸ばす。

2.薬に関わる様々な科学に興味に応じて学習できるカリキュラム

3年生後期では多数の薬学系専門科目から興味に応じて学習科目を選択できる。

「僕はバイオの研究に興味があるから生物系の科目を中心にとろうかな。」

「私は創薬化学に興味があるから、化学系の科目を中心にするわ。」

「私は将来行政に進みたいから、知的財産の科目を取りたいな。」



3.併設の薬学科と同じクラスで基礎薬学科目を学習するカリキュラム

薬の臨床面を学ぶ仲間を持つことで、医療現場を理解しつつ研究開発・行政を担う薬学専門家に。

生命薬科学科

入学

入学から卒業まで

1年生

滝子キャンパス

大学生としての教養を学びます。また後期からは薬学の専門科目も一部始まります。

●教養教育科目の履修

生命薬科学研究入門(薬学キャンパス)

理系の基礎科目

外国語・英会話、体育

テーマ科目

●専門教育科目の履修

基礎生物化学、薬学有機化学

生命薬科学研究入門

「『抗がん剤はなぜがんに効くの?』高校生の妹に聞かれて、薬学部に入學したばかりの雅治は答えに窮した…」与えられたシナリオに基づいて徹底的に討論しながら科学的な考えを深めていく、普通の講義とは違うユニークな授業。1年生の科目では唯一、薬学キャンパスで開講。



神谷 光 さん

愛知・岡崎高卒

生命薬科学研究入門では大きく分けて2つの事を行います。まずPBL(problem-based learning)という授業では、ある事象とそれに関する情報が与えられ、その事象の原因はなにか?という事を皆で話し合って説明していきます。そして授業の最終回に、話し合った結果をまとめて発表を行います。授業を通して「異なった情報を持つ人が協力し、いろいろな視点から問題を解決する」「どのような発表をするかと相手に分かりやすいか」という事を学びました。研究者にとって自分の研究の有用性を相手に伝える事は本当に重要だということを学べる授業だと思います。2つ目は研究室訪問です。2,3人でひとつの研究室を数回訪問し、研究内容や自分の疑問を直接、教授や先輩の方とお話できます。僕は研究室がどのような所なのか全く具体的イメージがありませんでしたが、実際に訪問することで研究内容はもちろん、どんな生活を送っているのかなど自分の気になる疑問を解決し不安を払拭できました。情報や技能が身に付くという特徴的な授業なので、是非しっかり参加して欲しいと思います。

2年生(前期)

田辺通キャンパス

薬学関連の専門的な勉強が本格的に始まります。

●専門教育科目の履修

薬学物理化学、薬品分析化学

構造生物学、薬学有機化学

薬学無機化学、生物薬品化学

衛生化学、薬用植物学、

薬剤学、製剤学、薬学英語

研究室での
研究体験が
できます!
(希望者)

2年生(後期)

薬学の研究に必要な専門知識がどんどん増えてきます。

●専門教育科目の履修

薬学物理化学、薬学有機化学

薬学無機化学、生物薬品化学

微生物薬品学、衛生化学

生薬学、薬剤学、製剤学

薬学英語

化学系実習、物理系実習

化学系実習



久永 有沙 さん

宮崎・日向学院高卒

化学系実習では、まず有機化学実験の基本的な操作と構造解析の基礎を習得したうえで、高度なテクニックを要する化学合成実験などを経験します。生薬の有効成分の抽出も行いました。紙の上

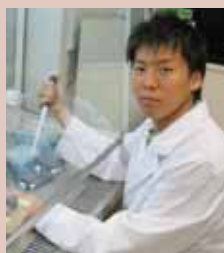
では簡単に反応式を書けても、実際には思い通りに行かなかったりするので、もっと経験や技術が必要だと感じました。百聞は一見に如かずというように受動的な講義だけでなく、実習で体験することでより理解が深まります。さらに、実習では仲間と意見交換をする機会もあるので、互いに良い刺激を受け、切磋琢磨できます。また、実習中は先生方や大学院生の方達が的確な指導をしてくださり、ちょっとした疑問にも答えてくれます。白衣を着てフラスコを持つという姿が、研究者を目指す私にとっては中学生の頃からの憧れでした。こうしてちゃんと研究者への階段を上っているのだと思うと、なんだかうれしく感じます。



生命薬科学研究入門の様子

生命薬科学科目

生命薬科学科の履修科目。専門的な最先端科学に関する科目を自由に選択して履修する。研究室の先生から先端研究に関する講義を受けられる。



木谷 友次郎 さん

石川・金沢泉丘高卒

私は、薬が人々の病気の克服に貢献してきたことに感動し、創薬に携わりたいと思い薬学部に進学しました。薬学部では物理・化学・生物などの基礎的な科目から、薬理学・薬物動態学・薬物治療学

といった医療薬学科目まで幅広く学べることも魅力でした。

薬を創り、薬を正しく使用するには様々な分野の知識が必要とされます。そのため、生命薬科学科では研究室に配属され専門的研究に取り組み始めた後も、各分野の先生方による講義が開講されています。

私は、生物系の研究室に所属していますが、生物系だけではなく他の分野の講義も受けました。「医薬品化学」では有機化学の知識を基礎に、新薬設計の為に必要な概念を学びました。また、私たちが苦勞して得た画期的な研究成果も、相手に内容を正しく理解してもらわなければ意味がありません。「プレゼンテーション演習」では効果的な発表の技術を演習形式で身につけました。

以上のように、生命薬科学科では各々の専門分野以外にも、自分の興味に応じて幅広く学ぶことが可能です。高校生のみなさんも、生命薬科学科で、深い専門性と薬に関する広範な知識を兼ね備えた創薬研究者を目指してみませんか。

3年生(後期)

研究室に所属して、卒業研究を開始します。学位の取得を目指してそれぞれの学生が研究テーマに取り組めます。教科書で学ぶのとは違い、予め正解がある訳ではありません。自分自身で答えを探っていく研究の面白さを味わいます。

また、講義や演習でより高度な専門知識や最先端の知識を学びます。

●卒業研究実習の履修

●生命薬科学科目*の履修

●演習科目の履修

薬学情報処理演習、プレゼンテーション演習

*次の科目から自由に選択

創薬科学・知的財産活用論、コロイド・高分子科学
バイオインフォマティクス、生命有機化学
ケミカルバイオロジー、合成戦略化学
分子薬理学・神経科学、ドラッグデリバリー論、
分子病理学、分子感染症学、医薬品化学、

卒業研究
スタート

3年生(前期)

薬学の研究に必要な専門知識をさらに学びます。ここまでで、研究に必要な薬学の専門知識の学習がひととおりおわります。

●専門教育科目の履修

薬品製造化学、薬品合成化学、薬化学
微生物薬品化学、生薬学、医薬品代謝学
薬理・毒性学、病態生化学
医薬品情報学、薬学英語
医療機能系実習、生物系実習



生物系実習



高橋 朋弘 さん

愛知・東海高卒

生物系実習では、実際に実験しながら、生物学に関わる様々な内容に触れることができます。実習のいいところは普段用いる教科書に書いてあることが目の前で確認出来ることです。もちろん実

験は必ずうまくいくわけではありません。でも、なぜうまくいかないのかなどを考えられるのでとてもためになります。指導してもらっている教員や大学院生の方々は的確なアドバイスをしてくれますし、実験の技術なども素晴らしく慣れてしまいます。自分もこんなところで研究してみたいと思えてきます。薬学部といえはなんとなく実習もあって忙しいイメージをもたれるかもしれませんが、ほとんどの学生が部活やアルバイトなど様々な課外活動をしています。勉強や実習などしながらこのようにスポーツをしたり責任感を持って仕事に取り組むことは、とても自分にとってプラスになる気がします。

プレゼンテーション演習

生命薬科学科の必修科目。研究者に必要な「成果を発表する能力」「一般の人たちに説明する能力」を養う演習。これからの時代を担う研究者は、社会への説明責任や、科学の普及も大切な役目となる。この時に役立つ“プレゼンテーション能力”を身につける。

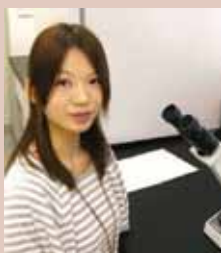


4年生

それぞれの研究室で、1年間じっくり卒業研究に打ち込みます。大学院生の先輩の姿を見ながら、本格的な研究について学びます。自分自身で研究し、見いだした成果を卒業論文にまとめます。

●卒業研究実習の履修

大学院入試
があります

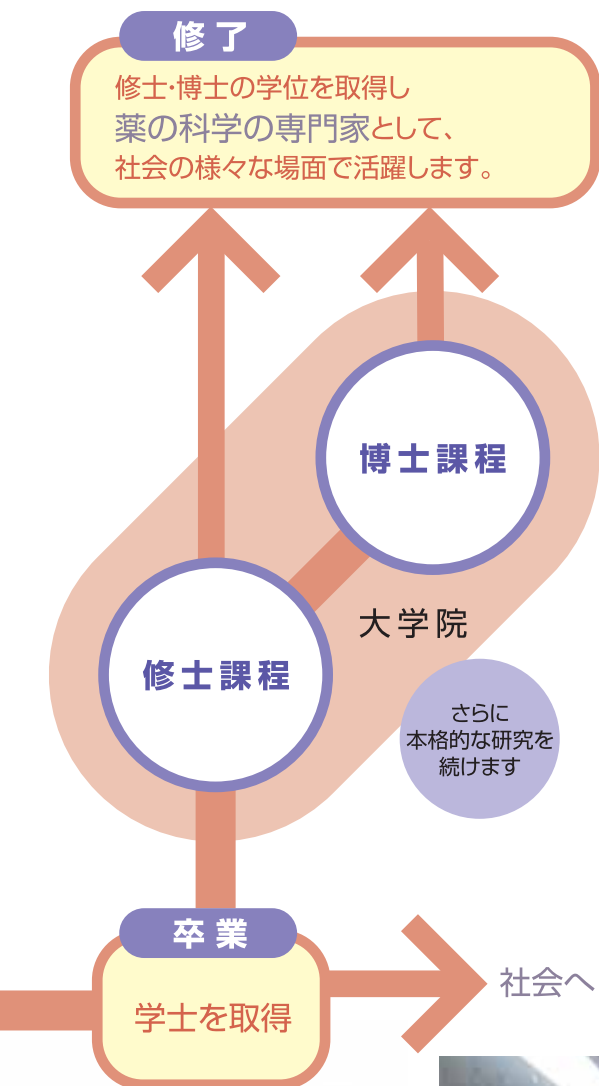


亀川 沙知 さん

山口・岩国高卒

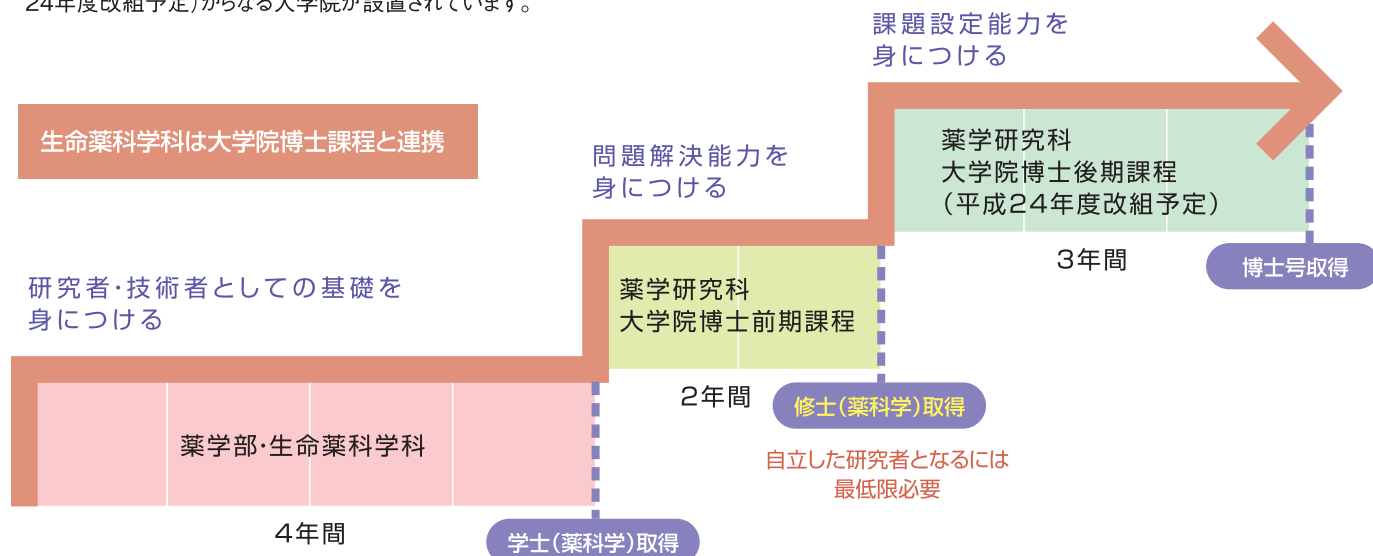
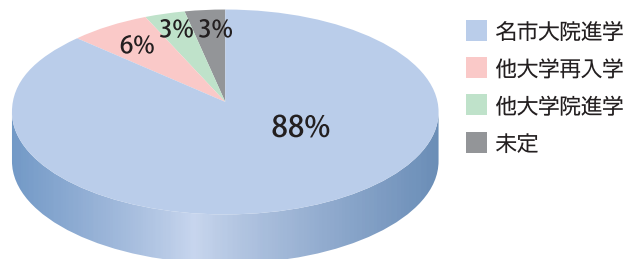
生命薬科学科では3年後期から研究室に配属され、卒業研究に取り組みます。特に4年生になると1日中研究に没頭します。3年前期までの学生実習では指示された実験をこなし基本操作を習

得しますが、卒業研究では自ら論理的に考え研究を進めることが必要です。なかなか成果に結び付かないときもありますが、自分で試行錯誤し、先生方や先輩達からアドバイスをもらい、討論を重ねていく中で、研究者・技術者としての基礎が身につくのだと実感しています。さらに研究室で定期的に行われる実験報告セミナー等で発表する機会が与えられ、プレゼンテーション能力も養われていきます。私は生体超分子システム解析学分野でアレルギーに関与する細胞について研究しています。私が薬学部を志望したのも自身のアレルギー体質がきっかけであり、今の研究には非常にやりがいを感じています。今後も大学院に進み研究を続け、将来医薬品等の研究開発に携わる人材になれるよう勉強していきたいと考えています。



大学院進学について

生命薬科学科では、3年後期から約1年半の期間、卒業研究を行います。研究者として自立した力を身につけるためには十分とは言えません。そのため生命薬科学科は大学院博士課程と連携しており、大学院への進学が強く望まれています。新制度1期生である平成21年度の卒業生は、88%が本学大学院へ進学しています。生命薬科学科には、博士前期課程(2年間)と博士後期課程(3年間・平成24年度改組予定)からなる大学院が設置されています。



大学院では研究室に所属し、研究活動を行います。研究内容は、有機化学、物理化学、生化学、薬理学、など多岐にわたりますが、いわゆる学生実習とは全く異なり、世界中の誰も知らない未知な事象が対象です。皆さんが得る実験結果は、研究に従事した皆さんが世界ではじめて手にする内容なのです。研究内容は国内外の学会で発表され、著名な学術雑誌に報告されます。



●研究風景

生命薬科学科

国際学会発表支援制度(大学院生)

本学では、大学院生を対象に「国際学会発表支援制度」を充実させています。海外の国際学会で自ら発表する学生には、旅費及び滞在費が支援されます。世界の研究者の前で、皆さんの研究成果を発表してみませんか？



薬剤師資格について

生命薬科学科では、創薬科学や生命科学分野をリードしてゆく研究者、技術者として活躍する人材の育成を目指しています。従って、生命薬科学科は薬剤師養成を本来の目的としてはおらず、学部4年を修了した段階では薬剤師国家試験の受験資格は得られません。ただし、平成29年度までの入学者に限って、大学院2年間を修了した後、さらに必要な単位を取得し、かつ6ヶ月の実務実習を行い、一定の要件を満たすと、薬剤師国家試験の受験資格が厚生労働大臣から認定される場合があります。通常、大学院修了後さらに2年程度の在学(専修コース)が必要となります。

在学生からのメッセージ



落合 なつき さん

(卒業生・本学大学院在学中)
三重・津高卒

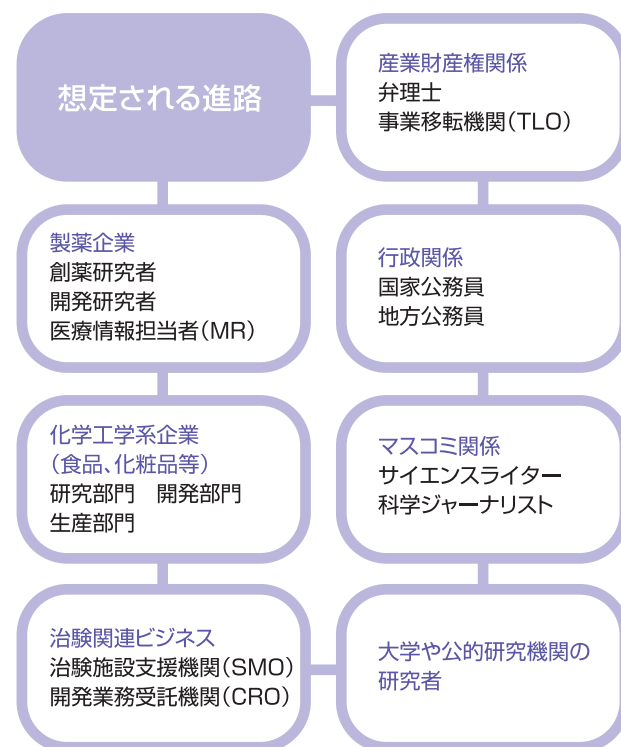
勉強している内容を「おもしろい」と思うようになったのは、大学に入学してからです。高校までは、与えられたものに必死に食らいついていくという感じで、何をやるにも時間のかかる私には本当に苦しかったことをよく覚えています。ですから正直な話、大学には入学できたものの、勉強についていけない不安でした。

ところが、大学の講義は興味深いものが多く、初めて、講義中に習ったこと以外のことももっと知りたいと思うようになりました。先生方に質問すれば丁寧に教えて頂けるのはもちろん、その講義内容に関連して、研究中の最新情報も教えて頂けて、ますます意欲がわきました。

大学生活で最もおもしろく、大切だと私が思っていることは、自分で選択して学ぶということです。生命薬科学科では自由に学ぶことができます。必須の単位が少ないので、研究活動や自主勉強ができますし、薬学科の講義も受講できます。自分が学びたいこと、必要だと思うことを選んで勉強できるのが、名市大薬学部生命薬科学科の良いところです。

大学院進学後の進路について

平成18年から全国の薬学部ほとんどが6年制となり、大学院と連携して教育・研究を行う4年制学科は貴重な存在となりました。そのため高い研究能力をもち、薬学の知識・技能を学んだ研究者は、多様な業種からの需要が期待されます。大学院修了後は、以下のような進路が考えられます。



在学生からのメッセージ



白川 慶典 さん

群馬・高崎高卒

皆さんこんにちは。私が大学生活のなかで一番頑張ったことは部活動の卓球です。私の場合、平日はほとんど部活でしたが、3年後期からは研究室に配属されるため、部活には休日しか行けなくなりました。

研究室での生活もなかなか楽しいものです。私は有機化学を専攻しており、平日は少なくとも朝9時半から夜8時まで卒業研究をしています。新築されたばかりの研究室は清潔感にあふれ、気持ちよく実験できます。研究室では、毎日の実験に加えて、研究室対抗ソフトボール大会に向けた練習や、時折行われる飲み会など、様々な活動を行っています。これらの活動は、とくに実験が上手くいっていないときには良い気分転換になります。

薬学部キャンパスは閑静な住宅街にあり、周りは緑に囲まれています。キャンパス内には野球場もあり(ここでソフトボール大会を行います)、恵まれた環境だと感じています。皆さんをこの緑に囲まれたキャンパスでお待ちしています。

薬学科

患者さんから信頼される医療チームの一員となって
最先端の医療に参加しませんか？
広い視野を持って未来の医療を担う人間性豊かな
薬のスペシャリストに！



薬学科の概要

これからの医療では異なる医療専門家がチームとなって治療を行うことが求められています。薬剤師は薬の専門家として患者さんに対して、また、チーム医療の中で重要な役割を担っています。薬学科では、豊かな人間性と広い視野、コミュニケーション能力を持った医療、行政、教育、研究及び産業分野で活躍する薬剤師の育成を目指しています。

薬学科の特徴

1.医学部、看護学部と一緒に医療について学べるカリキュラム

臨床体験、BLS(Basic Life Support)講習や医療係学部連携チームによる地域参加型学習などを学べる早期体験学習があります。

2.創薬から臨床、そして最先端の研究にわたって学べるカリキュラム

薬学科では以下のような目的意識をもって学べる講義を開講しています。

- ・薬を作る最先端の研究を学ぶ。
- ・診断、治療についての考え方を学ぶ。
- ・高度な医療や創薬について学ぶ。

3.広い視野をもった医療人としての自覚と、薬剤師としての知識、技量を学ぶカリキュラム

病院、薬局で医療に携わっている医師、薬剤師から臨床について学ぶ講義を開講しています。

4.医療や創薬についての研究ができるカリキュラム

4年次から研究室配属され医療や創薬についての研究をはじめます。

5.臨床薬学の進歩に貢献する人材の育成

臨床薬学の進歩に貢献する指導的な人材、研究、教育者の養成のための大学院を設置しています。

6.卒業後も教育研修の機会がある大学

薬剤師学び直しやリカレント(生涯学習)教育に実績があり、卒業後も最新最先端の医療について学べる講座を開講しています。



入学

入学から卒業まで

1年生

大学生としての教養を学びます。
また、後期からは薬学専門科目も一部始まります。

●教養教育科目の履修

医療系学部連携早期体験学習

理系の基礎科目、外国語・英会話、
体育、テーマ科目

●専門教育科目の履修

基礎生物化学、薬学有機化学

滝子キャンパス

医療系学部連携早期体験学習



川崎 桂輔 さん

愛知・豊田西高卒

一年生の前期にある早期体験学習の前半では、手の洗い方や、車椅子やストレッチャーの使い方などの病院での基本的スキル、BLS講習*、効率的な話し合いの仕方(KJ法)などを順に学んで

いき、その他にも実際に看護師さんについて病棟を回ったりしました。後半には、医学部・看護学部の学生と一緒に班を作り、地域医療などのテーマについて実際に現地に赴いて調べるなどして発表しました。早期体験学習は医療者側から病院を見ることが出来る貴重な体験であり、これから薬学部で勉強していく自覚も生まれる契機となりました。自分で学ぼうとした量と同じだけの量を学ぶことができる実習であるので、体験学習に臨むときにはぜひ意欲的に取り組んでほしいと思います。

*BLS講習の内容:心臓マッサージ、人工呼吸、AED (Automated External Defibrillator、自動体外式除細動器)などを使用した心肺蘇生

2年生(前期)

薬学関連の専門的な勉強が本格的に始まります。

●専門教育科目の履修

薬学物理化学、薬品分析化学、構造生物学、
薬学有機化学、薬学無機化学、生物薬品化学、
衛生化学、薬用植物学、薬剤学、製剤学、
機能形態学、薬学英語、薬学概論

田辺通キャンパス



BLS講習の様子

2年生(後期)

薬学に必要な専門知識がどんどん増えてきます。

●専門教育科目の履修

薬学物理化学、薬学有機化学、薬学無機化学、
生物薬品化学、微生物薬品学、衛生化学、生薬学、
薬剤学、製剤学、薬理学・毒性学、薬学英語、
物理系実習、化学系実習



4年生(前期)

臨床に関する講義が始まります。前期から研究室に配属になり卒業研究が始まります。

●専門教育科目の履修

臨床薬学、公衆衛生学、薬局管理学、卒業研究実習

卒業研究
スタート



3年生(後期)

さらに専門的な薬学の知識を学びます。

●専門教育科目の履修

免疫学、薬理・毒性学、放射薬品学、薬事関連法・制度、機器分析化学、物理分析化学、医療経済学、生物統計学、放射医療学、基礎薬学演習(PBL)



3年生(前期)

薬学に必要な知識をさらに学びます。

●専門教育科目の履修

薬品製造化学、薬品合成化学、薬化学、微生物薬品学、生薬学、医薬品代謝学、薬理・毒性学、病態生化学、医薬品情報学、薬学英语、生物系実習、医療機能系実習

薬学科講義科目



新美 有希 さん

三重・四日市高卒

3年生になると薬剤学、製剤学、薬理学、生薬学など薬に関わる勉強がはじまります。生薬学では、刻み生薬の味見をすることができたのがとても印象に残っています。また、「この漢方薬はこのような作用があるんだ。」という発見もあり、薬学というものを身近に感じることができました。

薬理学や病態生理学では処方される薬の名前が出てきます。将来自分が扱う薬の作用機序や、それに関連している生体反応について学ぶ薬学部ならではの薬の専門の講義でした。

この他に有機化学など臨床薬学だけでなく製薬分野も学ぶことができました。

さまざまな方向から薬について学んでいるので覚えることは多く、専門の単位はほとんど落とせなかったため大変ではありますが、今後よい薬剤師になるためにできるだけ多くのことを学んでいきたいと思っています。

4年生(後期)

後期には実務実習事前学習と共用試験があります。

●専門教育科目の履修

臨床薬学実務実習事前学習、卒業研究学習

共用試験

OSCE: Objective Structured Clinical Examination
(客観的臨床能力試験)、
CBT: Computer Based Testing (知識試験)

実務実習事前学習

5年次での実務実習(薬局実習・病院実習)に必要な技能と知識を身につけるために行われます。処方せんや医薬品に関する講義、調剤や服薬指導など薬剤師業務に直結した実習を行います。

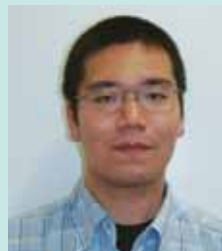


人体シミュレーターによる
聴診器使用法の習得



服薬指導演習

実務実習事前学習体験談



縣 優介 さん

愛知・豊丘高卒

実務実習事前学習は、5年次に行われる薬局並びに病院実習の準備として、薬剤師業務に必要とされる基本的な知識、技能、態度を身につけることを目的としています。そしてそれは講義のみでなく、与えられた課題についてグループごとに討論し、その結果を発表する学習や、模擬薬局の調剤設備を使った調剤実習、模擬病棟での服薬指導演習など、医療現場を想定して様々な形式で行われます。また、指導には薬学部教員の方以外に実際に現場で働いている薬剤師の方が多く参加されるので、在宅医療や、チーム医療、また麻薬処方箋についてなど、経験に基づいた様々な話を聞くことができました。これらのことは薬剤師業務について理解を深めるのみでなく、自分が将来どのような薬剤師になるか考える上でも役立ちました。実務実習事前学習は参加型の学習が主体であるため、積極的に質問や意見を出し、目的を持って取り組むことで、より多くのことが学べ、充実した2ヶ月間になりました。

共用試験 (OSCE・CBT)

5年次に実務実習を行うための知識や技能が備わっているかを問う試験です。

OSCE (objective structured clinical examination) では、調剤の技術や、患者さんへの服薬指導などが適切に行えるかどうか問われます。CBT (computer based testing) では、薬物治療のみならず、生化学・有機化学・物理化学の基礎的な知識も問われます。

これらの試験は、4年次の12月から1月にかけて行われます。この両方に合格しないと、実務実習を行うことはできません。



OSCE 無菌操作の実技試験

CBT例題

1. 日本人の死亡原因の第1位はどれか
a. 心疾患 b. 肺炎
c. 悪性新生物 d. 自殺 e. 脳血管障害
2. 麻薬に分類される薬剤はどれか
a. バルビタール
b. エフェドリン
c. モルヒネ
d. アンフェタミン
e. ペンタゾシン

共用試験体験談



杉江 真梨子 さん

愛知・南山高卒

私は6年制教育課程の1期生です。OSCEとCBTは初めてで不安でいっぱいでしたが、なんとか乗り切ることができました。

OSCEに向けては、4年生の10月から約2ヵ月間、事前学習を行いました。この実習では、調剤、鑑査、服薬指導などの他、小グループに分かれて討論を行い、その内容を発表するというを行いました。中でも最も難しかったのは、注射剤調剤と、患者さんへの服薬指導です。注射剤調剤では輸液バッグに薬を注入するのですが、指に針を刺してしまうと失格になってしまうので、細心の注意を払って行いました。服薬指導の練習では、外部から患者さん役の方が来てくださったので、本番さながらの緊張感を持って行うことができました。

CBTはOSCEの1ヶ月後にありました。各科目について深い内容を問われることはあまりありませんが、範囲が広いので早めから対策することが必要です。CBTの設問は大きく3分野に分かれています。分野ごとに、受験者によって難しさは多少違っていましたが、全体的な難易度はほぼ同じだったようです。

5年生

病院や保険薬局での実務実習が始まります。

●専門教育科目の履修

臨床薬学実務実習（病院実習）
臨床薬学実務実習（保険薬局実習）
卒業研究実習

実務実習（病院実習、薬局実習）

病院及び調剤薬局においてそれぞれ11週間の実務実習を行います。実際の業務を体験し、薬剤師としての技能を習得します。

病院実習は名古屋市立大学病院はじめ東海地区の病院で行われ、病棟での服薬指導や医師、看護師、他の医療従事者とチームで医療に携わることなどを学びます。

薬局実習は主に愛知県内の調剤薬局で行います。それぞれの薬局に1～2名の実習生が配属され、調剤や服薬指導を学びます。



病院薬剤部での調剤



病院実習体験談



石田 曜子 さん

大阪・北野高卒

2ヵ月半という長期間の病院実習をすることに最初は不安もありましたが、実際実習が始まってみると毎日新しい経験ばかりで、とても充実していました。また、薬

剤師さんたちは時間を惜しまず私たちに丁寧に指導してくれるので、安心して実習に取り組むことができました。

病院では、薬の調剤(処方された薬をそろえること)はもちろん、患者さんへの服薬指導、抗がん剤や高カロリー輸液の調製、院内製剤(製薬会社が販売していない薬品)の調製、薬品の在庫管理、医薬品情報提供などの仕事をさせてもらいました。またチーム医療にもいくつか関わることがありました。言葉だけではあまりイメージが湧かないと思いますが、調剤は仕事の一部でしかないということがわかるかと思います。病気で苦しんでいたり不安を持った「本物の」患者さんたちを目の前に業務をするということは、大学の教室では決して体験することはできません。実習は薬剤師の仕事の重みを体で感じられる貴重な経験だと思います。

薬局実習体験談



水谷 健二 さん

岐阜・多治見北高卒

私は現在、薬局実習を行っています。実習が始まって、一ヶ月が経ったところです。現場でしか体験できない経験を通じて多くのことを学びました。

実務実習の大きな特徴は、実際に患者の方と向き合い話すという経験ができることだと思います。患者の方からいただく言葉の端々から、医療人としての薬剤師に対する期待の大きさを感じると同時に、責任の重さも自覚しました。実習の中で調剤をする機会も増えてきましたので、自分の調剤した薬が患者の方の手に渡るという自覚を持って調剤に臨んでいます。

今、私にとっての最も大きな課題は、患者の方への適切な指導ができるようになることだと感じています。薬の正しい飲み方や効果はもちろん、副作用や同時に服用してはいけない薬について説明することは簡単ではないことを、実習の中で痛感しました。残りの実習期間で、正確な知識を身に付け、コミュニケーション能力を高めることでこの課題を克服したいと思います。



薬局での調剤、市販薬の販売



6年生

卒業研究のまとめと薬剤師国家試験があります。

●専門教育科目の履修

卒業研究実習

国家試験対策科目



薬剤師国家試験

博士課程

臨床薬学の研究の推進

医療、行政、教育、研究及び産業分野
で薬学の専門家として社会へ



COLUMN

南カリフォルニア大学 交換留学体験記

片岡 智哉さん 京都・平安高卒（後列左）



名古屋市立大学は南カリフォルニア大学と学生交流協定を結んでおり、薬学科5、6年生の希望者を対象に臨床薬学研修プログラム（USC International Clinical Pharmacy Program）を毎年行っています。私たち6名は2009年度のプログラムに参加しました。クラークシップでは2～3人のグループに分かれて、薬局やクリニック、病院などを訪れました。クリニックとは糖尿病や高血圧症といった慢性疾患の患者さんの治療を行う施設で、ここでは薬剤師が患者さんと面談して薬を処方していました。病院では医師と薬剤師の回診に同行しました。薬学生も活発にディスカッションしていたことやICU(Intensive Care Unit:集中治療管理室)でも薬剤師が活躍されていたことが印象的でした。アメリカの医療は分業化が進んでいます。特に薬剤師は、豊富な知識をもち、薬の専門家として臨床現場へ高い水準の医療を提供することができていました。アメリカの薬剤師は国民からの信頼度が高いといわれているのはこのようなシステムによるものだと感じました。

今回の交換留学で、日米の医療制度の違いだけでなく、文化の違いも学ぶことができました。アメリカの医療制度や薬学教育のよさを学ぶことができ、また逆に日本の医療制度や文化を再発見することができ、名市大のよさも改めて感じられ、たいへん有意義な国際交流ができたこと感謝しています。

大学院進学について

臨床薬学の領域における研究能力をさらに高め、臨床薬学領域を国際的にリードする薬剤師・研究者を養成するために、平成24年度より薬学科卒業生を対象とした4年一貫の博士課程大学院が設置される予定です。そこでは、より高度な専門的学術領域における知識や技能を体系的に習得するだけでなく、医療現場における様々な問題点を抽出し、それらを幅広い知識と経験により解決できる能力を培うことを目的としています。



1. 大学院での研究活動

研究室に所属して以下のような臨床的な課題に取り組みます。

- ・実践型研究(トランスレーショナルリサーチ、レギュラトリーサイエンス、医療経済、医療安全など)
- ・最先端研究(様々な疾患における薬物・生物療法、薬物の体内動態、遺伝情報に基づく個々の患者に最適な薬物療法など)

2. 地域の医療機関との連携による臨床教育・研究のサポート体制

臨床的な教育や研究を効率的に推進するために、臨床薬学教育研究センターを中心として、名古屋市立大学病院や地域の病院・薬局などの医療機関等との積極的な連携体制を整備しています。

3. 指導的な薬剤師、臨床薬学の研究・教育者の育成

日々進歩する医療と科学技術に対応できる人材として、「博士号」を取得した薬剤師に対する社会的ニーズは、今後より一層高まっていくと思われます。また、大学などのアカデミアで教育・研究職に従事するためには、「博士号」の取得は必須です。

「博士号」取得後は、より深い専門性を身に付けた薬剤師としてだけでなく、医療に直結した研究者として、以下のような職種での活躍が期待されています。

- ・大学病院などの主要な医療機関における指導的な薬剤師
- ・大学における臨床薬学の教育・研究職
- ・国や地方の公共団体における研究職
- ・ライフサイエンス関連企業(製薬、環境衛生、健康食品、医療機器等)における研究・開発職

他にも、薬剤師としての職能が求められる様々な分野をリードする人材として活躍が期待されています。



在学生からのコメント



青木 那佳 さん

京都・京都教育大附属高卒

私は高校生の時から医療に関わる仕事に携わりたいと思っていました。名市大薬学部は伝統があり、多くの薬剤師を輩出し、医療に貢献しています。私は知識を習得するだけでなく、研究にも力を入れていることに魅力を感じ、本学に入学しました。

現在は、研究室に配属され、研究論文を読んだり、細胞実験なども行っています。先生方や先輩方と議論をしたり、実験を教わったりすることで、人間関係の輪が広がり、自分の将来についてしっかりと考えるようになりました。研究室に配属されてから忙しくなりましたが、楽しみや喜びを感じ、充実した日々を送っています。

私は、臨床の現場で服薬指導や医薬品の管理などを行うことにも興味がありますし、医薬品の認可や公衆衛生などの行政関係の仕事にも興味があります。これからの大学生活で、自分の進路についてしっかりと考え、将来は医療に貢献していきたいと思っています。

研究棟や実習棟が新しくなり、施設もとても充実している名市大薬学部で充実した大学生活を一緒に送りませんか？

在学生からのコメント



山村 周平 さん

大阪・三国丘高卒

国公立の中でも研究・教育のレベルが高いという評判があったのが本学を志望した率直な理由です。実際にクラスの仲間や先輩、教授は知性に満ち溢れ、互いに切磋琢磨し合える素晴らしい環境です。また、臨床分野にも力をいれているので、臨床薬剤師になることが夢である私にとっては理想的な大学です。現在は長期実習期間に向け勉学と研究に励む忙しい日々を過ごしており、とても充実した大学生活を送っています。

本学の特徴は、講義の内容が非常に充実しているところです。特に、将来のチーム医療に向けた取り組みなどにおいては他の大学よりも一歩進んでいるのではないのでしょうか？きっと私たちは、実際の現場に行っても、患者さんや医者・看護師・他のスタッフの方々としっかりコミュニケーションがとれる薬剤師になれると思います。

私は今、先輩や後輩、そして先生の方と楽しく、仲良く過ごしておりとても幸せです。高校生の皆さんも本学に来て、私と同じ気持ちになってみませんか？





名古屋市立大学 薬学部 大学院薬学研究科



〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通3-1 TEL (052)836-3402 FAX (052)834-9309
<http://www.phar.nagoya-cu.ac.jp>

ACCESS

- 名古屋駅(JR、名鉄、近鉄)から
地下鉄(桜通線(野並行))「名古屋」(約17分)→「瑞穂区役所」下車、1番出口から東へ徒歩約15分
- 金山駅(JR、名鉄)から
市バス(金山16 瑞穂運動場東行)「金山」(約20分)→「市大薬学部」下車、徒歩1分
又は、(金山14 瑞穂運動場東行)「金山」(約20分)→「市大薬学部」下車、徒歩1分
地下鉄(名城線(左回り))「金山」(約14分)→「総合リハビリセンター」下車、1番出口から西へ徒歩約15分

【募集要項の請求はこちら】



テレメール <http://telemail.jp>

※その他希望する資料の請求が可能です。



このパンフレットは古紙/パルプを含む再生紙を使用しています。

発行／2010年8月